

保険金を使った住宅修理の勧誘にご用心！ —無料点検、安価なアンテナ撤去は勧誘の入り口かも—

屋根や雨どいの修理に「火災保険を使えば無料だ」「保険申請を手伝う」などと勧誘されてトラブルになった、という相談が多く寄せられています。火災保険は自然災害によって生じた被害を対象とし、建物の経年劣化による損傷は、原則、保証の対象にはなりません。

住宅修理事業者に誘導され、虚偽の保険申請をした場合、**保険契約が解除されたり、支払われた保険金の返金請求をされる等の可能性があります。**このような勧誘は鵜呑みにしないでください。

不審・不安に思う点がありましたら、すぐに松伏町消費生活センターにご相談ください。契約後でも書面の不備などから契約解除できる場合もあります。

事例：「アンテナを撤去します。防災上危険です。募金活動なので安いです。」と、突然来訪した業者に言われて頼んだ。屋根に上り撤去作業をした後「屋根に穴が開いている。火災保険で修理しませんか。手続きもサポートします」と言われ、無料でできるならと思い契約した。しかし工事内容の話はなく「お金が下りたら連絡をください」とだけ言われ、不審に思った。キャンセルしたいと告げたところ「キャンセル料は30パーセントだ」とすごまれた。契約書にはそう書いてあった。

問合せ 松伏町消費生活センター(環境経済課内)
☎991-1854

➔ 人権それは愛♡

外国人の人権

～多文化共生社会の実現に向けて～

外国人労働者の受入れ拡大を目的とした新在留資格「特定技能」を盛り込んだ改正出入国管理法が2019年4月1日より施行されました。今後、日本で働く外国人はさらに増えると考えられています。言葉や宗教、習慣などの違いから、外国人を避けてしまうことは、外国人の人権を侵害することになりますので、外国人への差別が起きないように努めなくてはなりません。

しかしながら、現在も「外国人だから」とアパートの入居や公衆浴場の入浴を断られることや、外国人が罪を犯すと、その国の人全てが悪いようなイメージを持たれてしまうことがあります。また、各地で行われているデモにおいて、特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動、いわゆる「ヘイトスピーチ」が公然と行われている状況もあります。

2020年には、オリンピック・パラリンピックが東京を中心に開催されます。今後、ますます外国人と接する機会が増える今こそ、「外国人だから」と偏見を持つのではなく、まずはコミュニケーションをとり、相手を知ることによって、お互いの人権が尊重された多文化共生社会が実現できるよう心がけましょう。

埼玉県では、「すべての県民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会」の実現に向けて、「人権尊重社会をめざす県民運動」を展開しています。

8月は「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」です。

問合せ 教育文化振興課 ☎991-1873
企画財政課 ☎991-1815

町長コラム

日本文化とオリンピック ～新たな日本へ～



鈴木 勝

日本文化へ愛着を感じている横綱白鵬関が、日本国籍の取得を目指している。春場所の優勝インタビューの時に三本締めを行ったことを日本相撲協会から指摘され、「日本文化を学びなおします」とコメントした。勝負事は相手があって初めて成り立つもので、剣道においては戦う相手に敬意を表し、勝っても大きな喜びを表現せず、「礼に始まり礼に終わる」を基本とすると伺った。まさに日本文化だと感じた。

入学式や卒業式等は、粛々と式が進行していく。まさに日本文化というべきものであろう。

さて、2020年の東京オリンピックまで1年を切り、いよいよ気運が高まってきている。選手村やホストタウンが決定し、各国の選手の受け入れ態勢が順調に進んでおり、期間中、日本は様々な国の文化が交錯することとなる。入れ墨やタトゥーは、日本文化において容認されているとは言い難く、銭湯、プールなどでは入場制限されている。

しかし、世界全体ではファッションの一部として認められ、国によっては民族の象徴であったり、地位を示す目印であったりする。入国管理法の改正や異文化の受け入れなど、オリンピックの開催をきっかけに、日本文化がどのように世界の文化を融合し、変革していくのか、とても興味深く見守りたい。